



江 陵 全 景

。す算を四十三百五千六口人・九十四百三千一數戸ひ沿に川大南。るあで地心中の化文方地・りあ等校學農・合組融金・廳支院法方地・院醫立道・署察警他のそ・地在所の廳郡陵江



江陵邑内本町通り
 道は注文津高城・元山自働車通を並ぶ
 街もと云ふへく・附近には郡廳・郵便局・警察署
 煙草元賣支店・普通學堂等がある



江陵面玉川町の路南農村落部
 人口千七百一十一人あり・寫眞前の方苗圃農會の柿
 苗試作場である



江陵邑内の一部
 洞候所附近より俯瞰

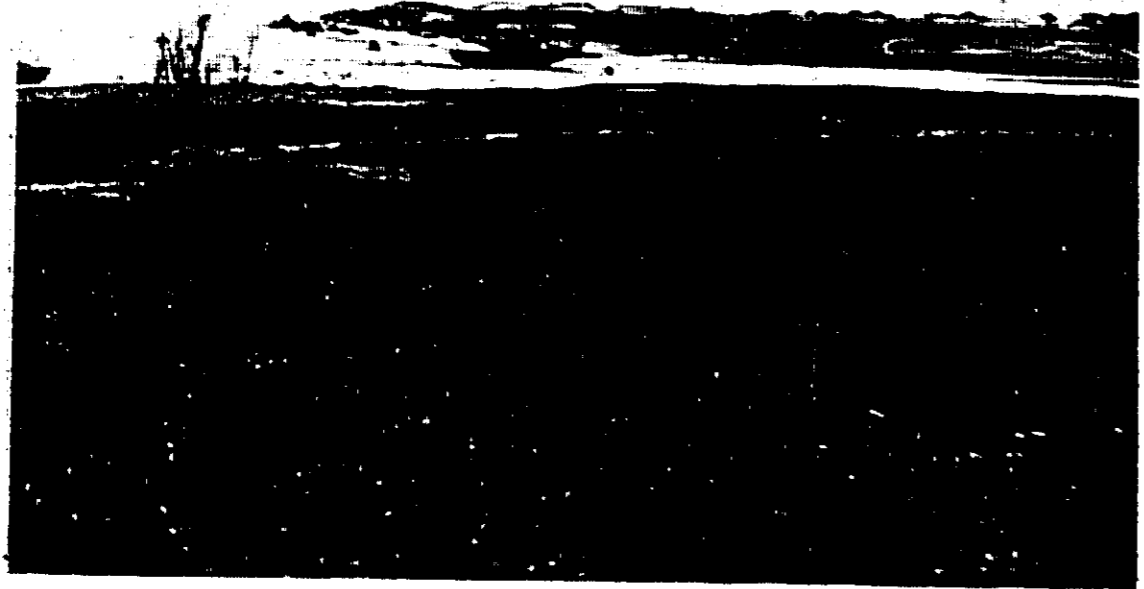


江陵邑内大正通り
 邑内の商店街である。道は大關嶺への二等道路と通
 じ江陵・原州・京城の間自働車通に當る



注 文 津 全 景

。江陵中邑内に亞部落に於て戸數七十一萬五千八百四十五・朝野の寄港地にして築港あり・鯨漁の期に船隻集りて壯觀を呈す



(一其) 落部村漁木安面陵江
寄の郵朝・りゑに口河の川大南里一約に東りよ内邑
。す達に四萬十三年産水てしに地港



(二其) 上 同



邑中郡陵江



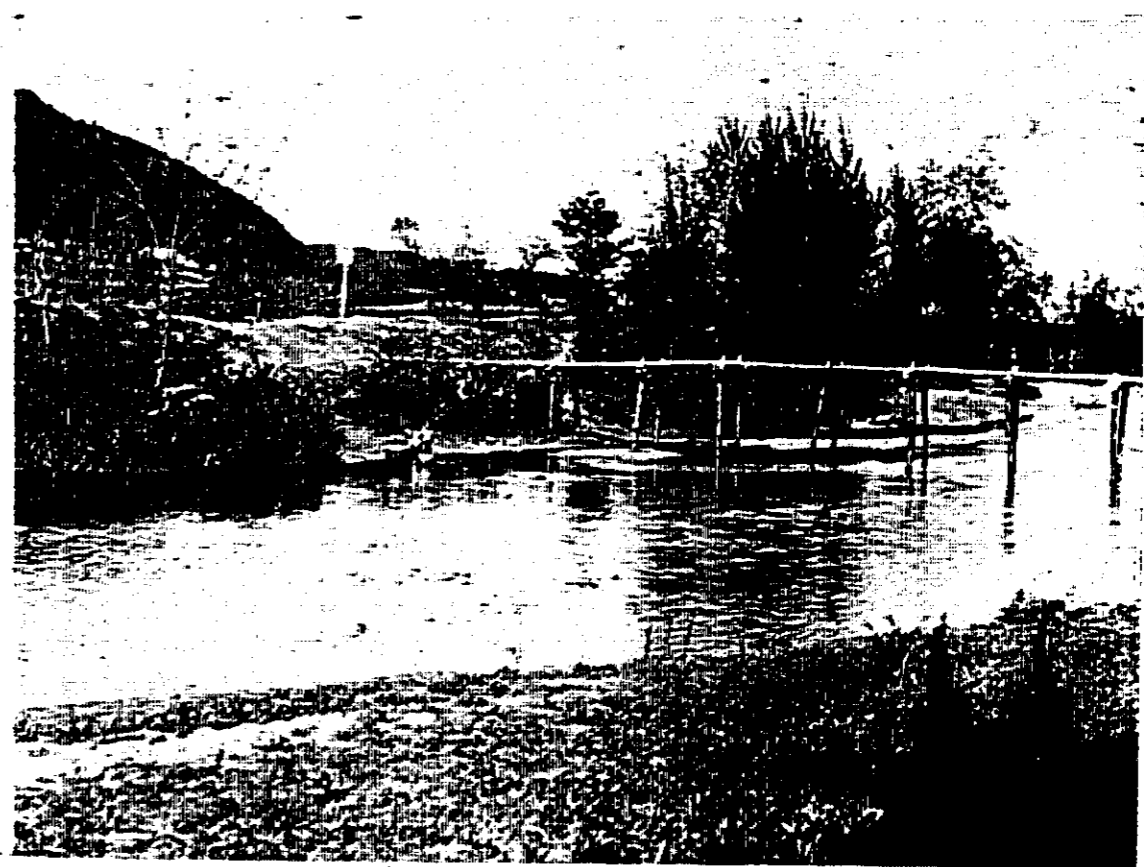
里亭雲面洞丁
 ・十九數戸・りあに邊の浦鏡・里一約へ北りよ内邑
 。るあで落部範模肥推・人三十二百五口人



落部村農翰發
 人・戸三十四百數戸・く近に津湖露・南東の面群望
 。るあで二十八百六口



(一共) 里月博面徳城
 中眞寫・てしに落部範模肥推・戸五十二百數戸落部
 。るあで宅邸の氏植允崔家農篤は屋家るな大の央



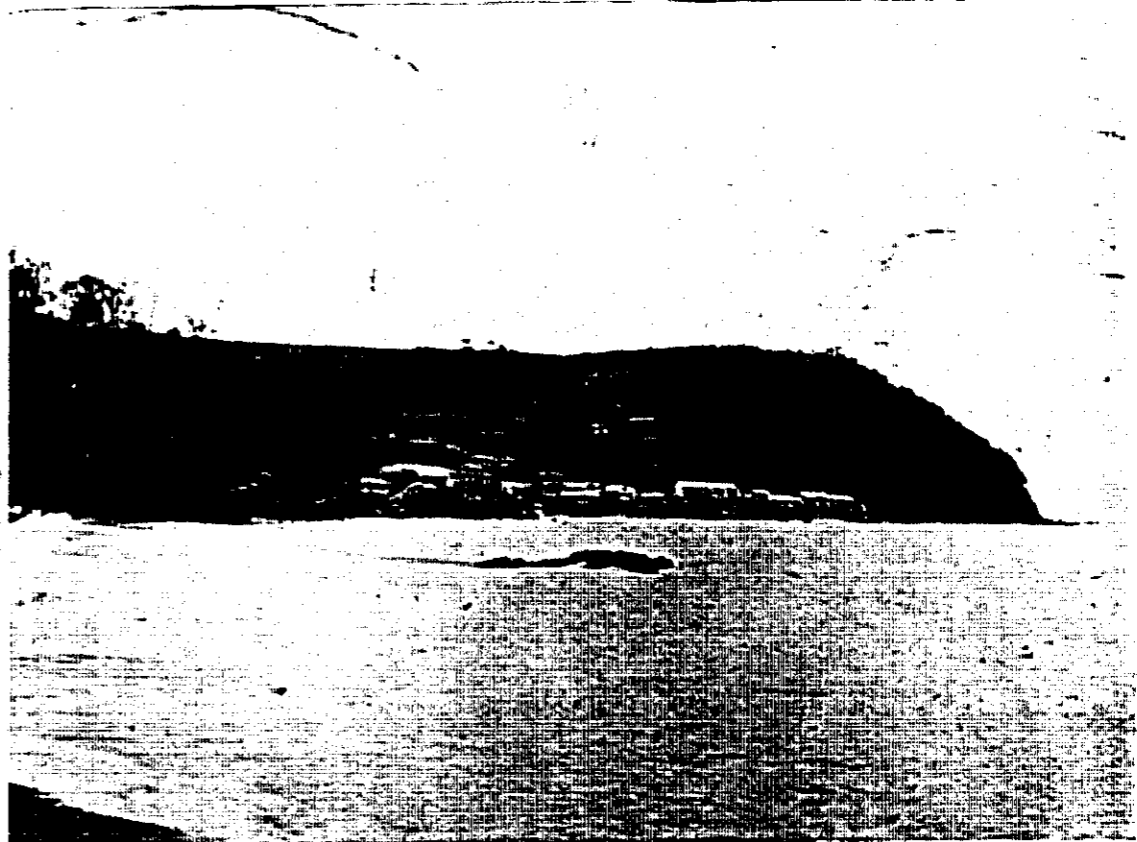
(二共) 上 同
 。るあでのもるたし設架てつ依に働勞同共の台風興里月博は梁橋



里 巖 魯 面 德 城
所務事面徳城は眞鶴・人二十三百八口人・戸十四百數戸
。るあで景の近附所在駐官察警



落 部 里 山 邱 面 山 城
肥推 。る當に路通車動自の嶺關大・内邑・里二約りよ内邑
。るあで人三十六百六口人・戸九十百數戸・てしに落部範模



(一其) 港 湖 墨
一十我工てしに港漁の南東の面群望・里十約りよ内邑段江
水てしに地港寄の郵朝・るあで中築修港築下目て以を圓萬
。七十八百二口人・九十五數戸。す達に圓萬十四年引取産



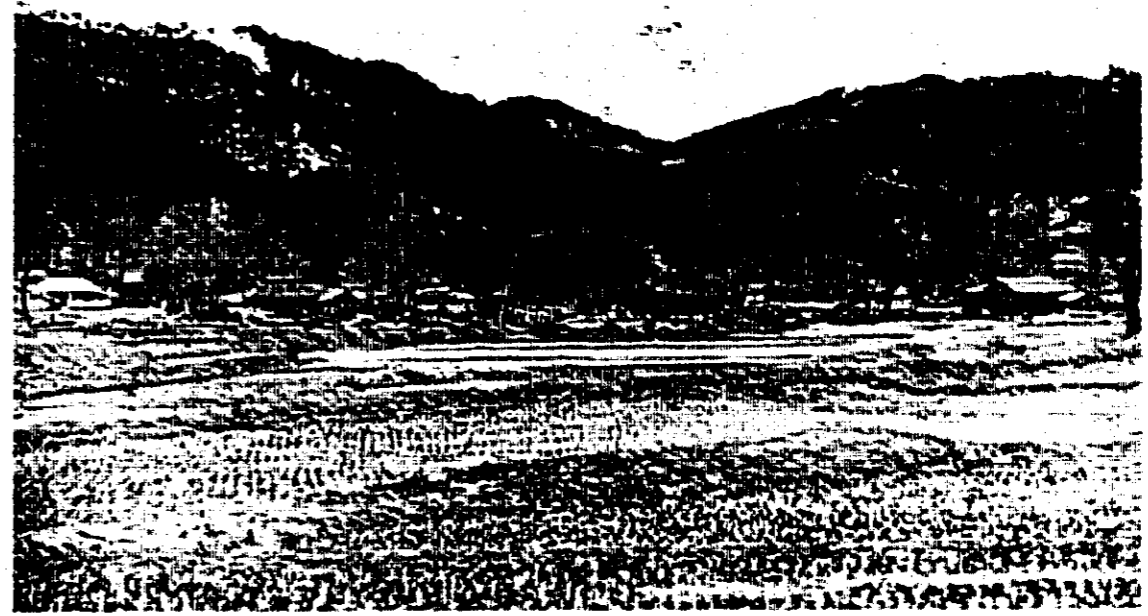
(二其) 上 同



落部里洞詩上面東江
十二百九口人・戸七十四百數戸・てしに落部範模肥推
。るあで近附の所務事面東江は眞寫。人七



落部面東江
い多が生産の畝はに家農の近附



落部村農山金面山城
人三十百七 口人 戸三十四百 數戸



落部面井邱



郡 廳 前 の 櫻



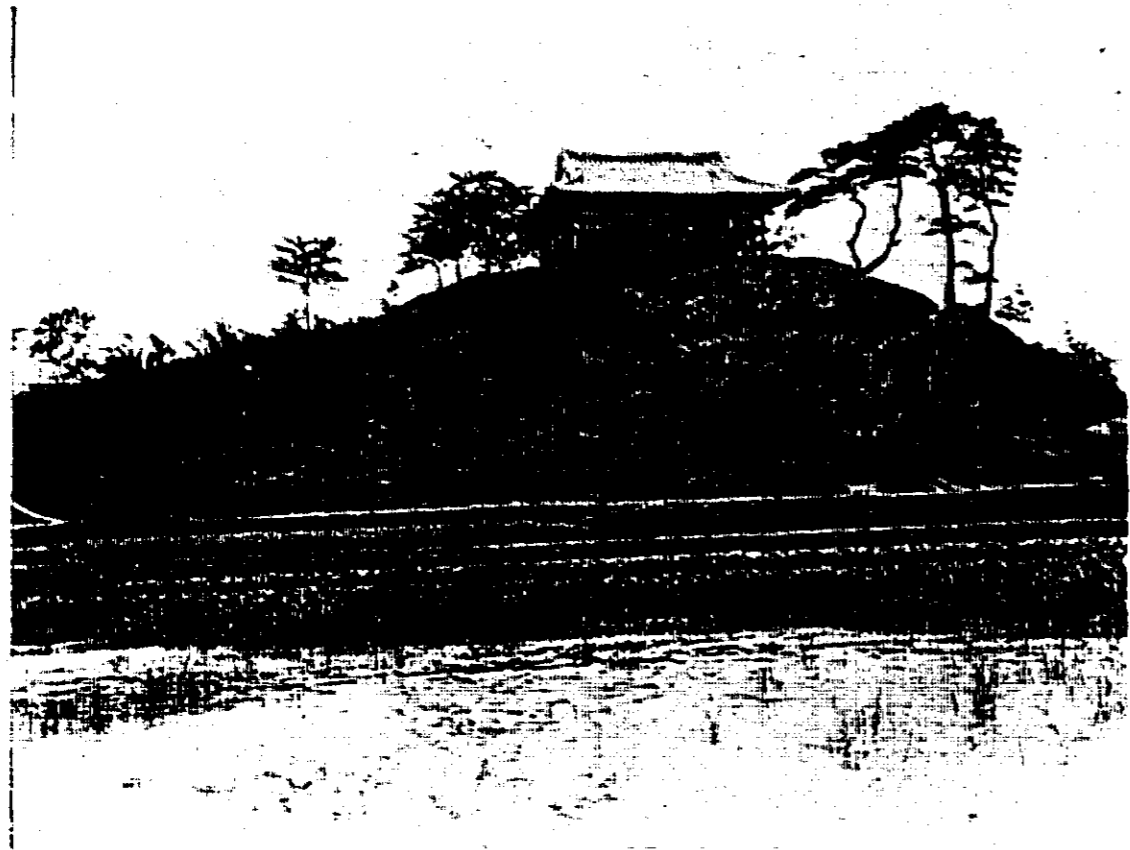
警 察 署 の 櫻



(一其) 玉 溪 面 縣 內 里 農 村 肥 模 範 部 落
務 事 面 玉 溪 ・ 人 一 千 五 百 四 十 人 ・ 戶 二 百 五 十 四 戶
所 在 地 處 於 。



(二其) 同 上



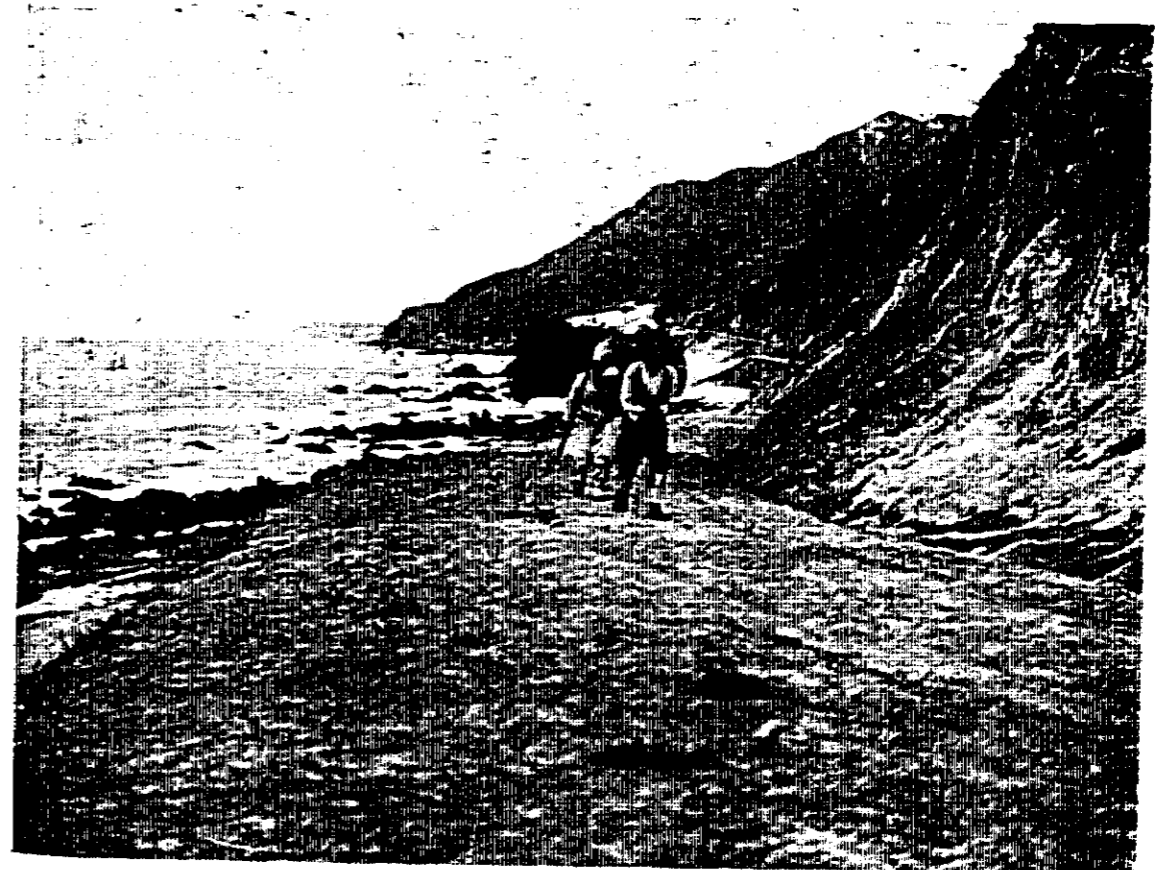
(一其) 臺 浦 鏡
色湖・サへ超を尺五深水てじ通と水海、半里三圍周は浦
。るらせ稱と一の景八東關てじ映と沙白・蔭綠・澄清



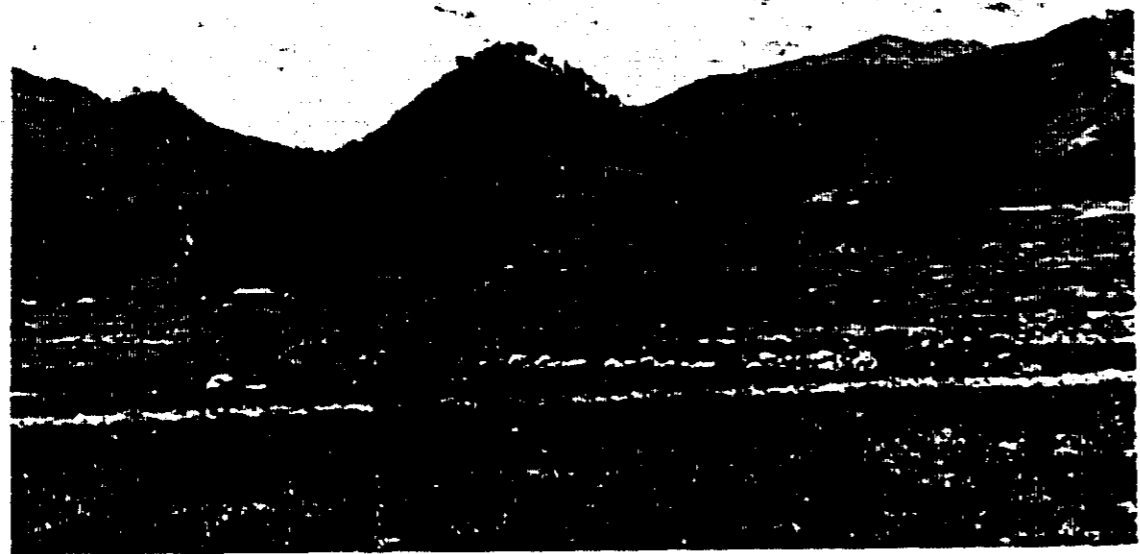
(二其) 臺 浦 鏡
て以を美の明月に殊・め收に昨一を光風の浦鏡は臺
。ぐ揚を額の書親王大宗肅・リあ名



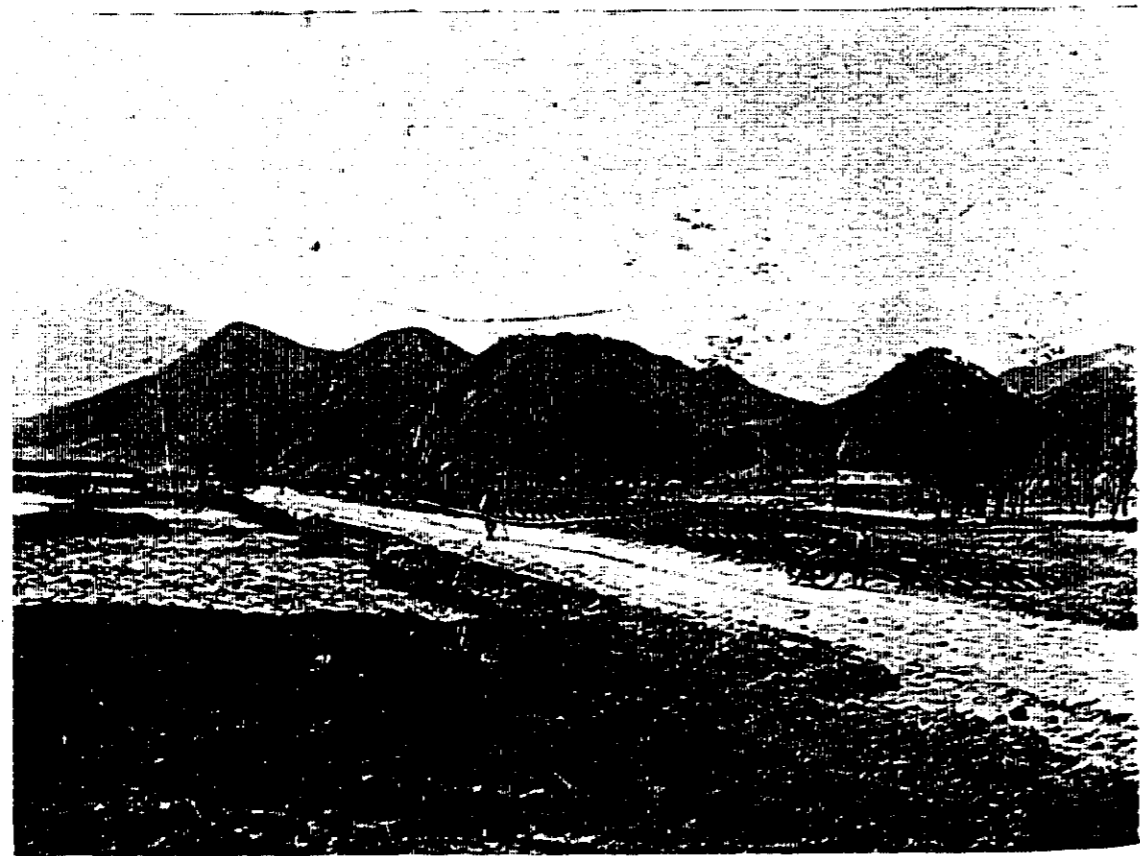
港 木 安
。るあて眉明光風み望を海本日に遙・てしに港漁の岸海東



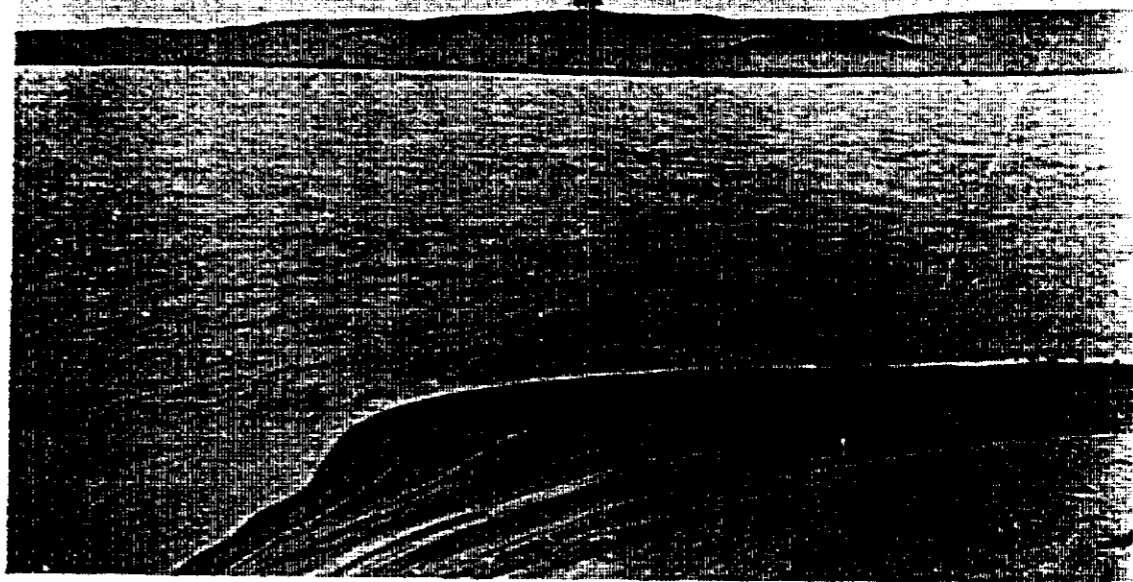
岸 沿 津 仁 安
。るあて大壯光風でん望を洋大・び及に里三々延・てし立屹壁岩



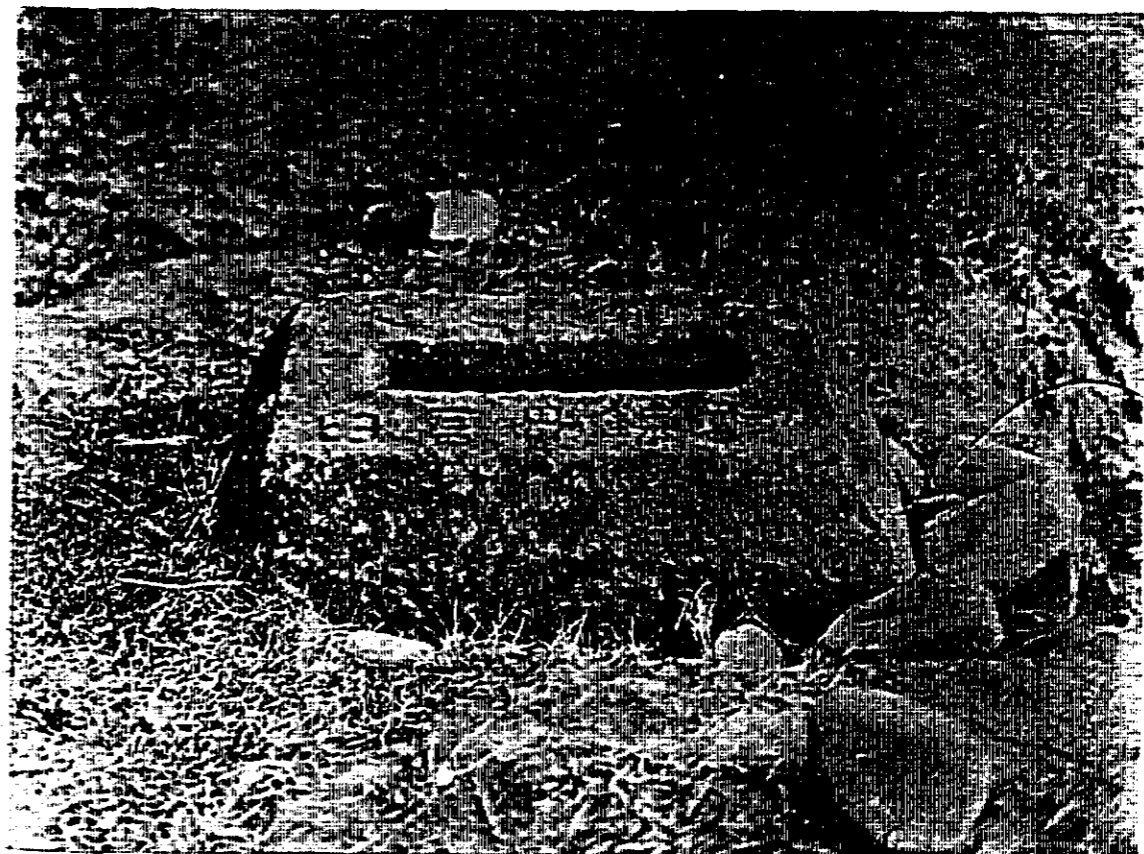
(一其) 望 遠 の 嶺 關 大
眼を郡一陵江・米五十六百八拔海てしに嶺山の界郡は嶺關大
。るあで大壯る顔觀景・み望を波煙の海本日に遙し瞰俯に下



(二其) 上 同
路通の車動自期定てしに路道等二る至に城京リよ陵江は路道
。す達に上頂く漸てし折曲廻迂を麓山の嶺關大は道。るあで



址 遺 寺 松 寒
・リあ白石・庵石・泉茶に傍・リあに里津項南面徳城
。ふ傳と址しび遊の仙四



白石丹鍊郎永人仙羅新
羅新・てしに址遺の寺松寒・リあに里津項南面徳城
。るあで白石ふ云としり鍊を藥の人仙



像地のび結縁
。るさ信述てしと像地のび結縁・リあに中畠の町川玉



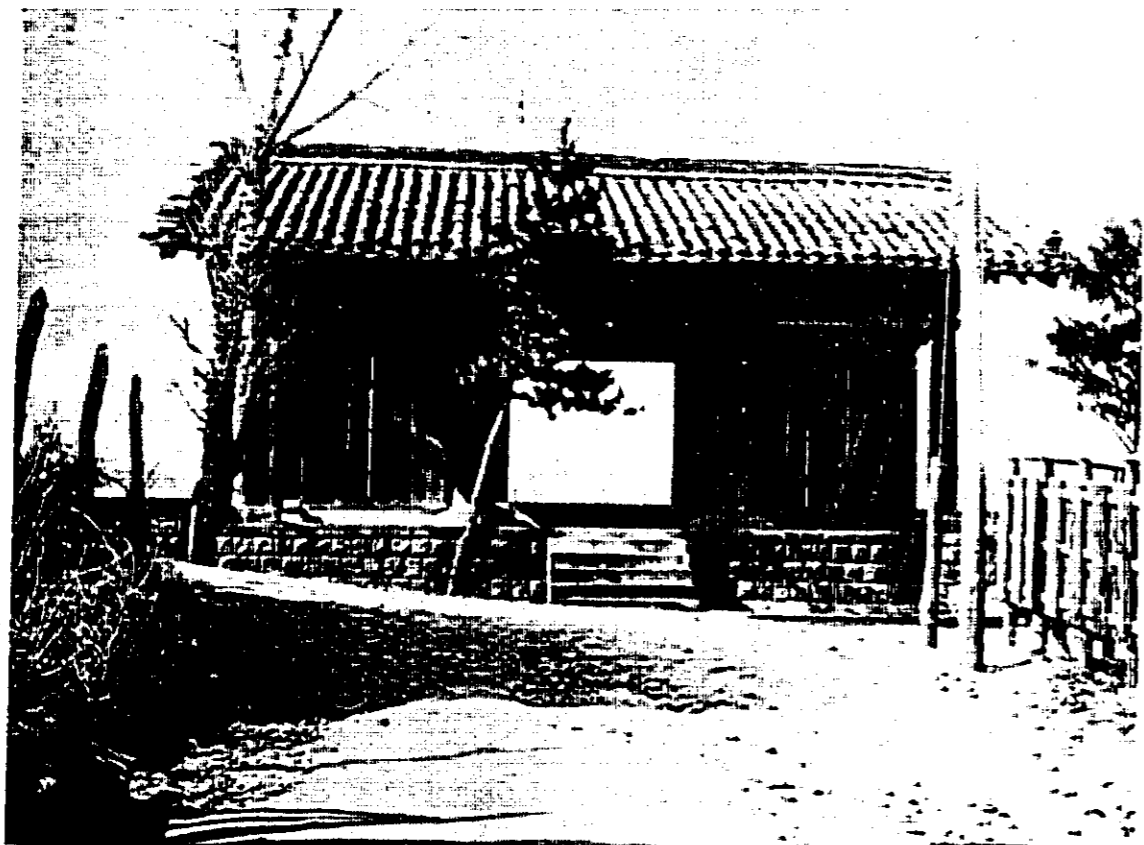
像佛の跡寺福尋
び及像佛の址遺寺福尋る係に立建の師國立梵羅新
。るあで塔



亭淵天
。す呈を景奇・流碧・岩巨・リあに山邱面山城



山正月
。ふ云もと山帯月・餘里半リま内邑・リあに里山斗面徳城



江陵公立普通学校門
・し残を式様築建の代時新・てしに築建の前年百數
。す屬に物築建存保



江陵郷賢祠
るたれ生に陵江・く近に廟文・りあに里洞校面陵江
。す祀奉を人賢の人二十



邑内玉川町に於ける舊寺の旗竿



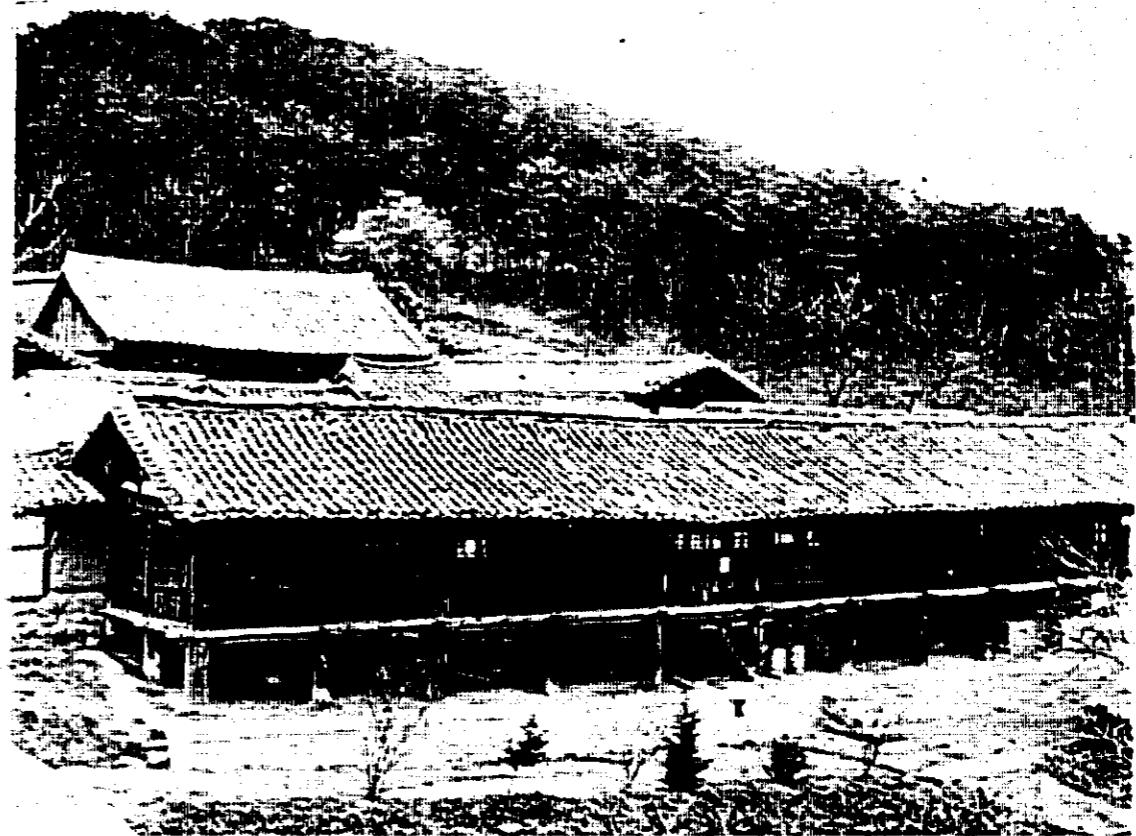
江陵金氏三世四世之関
。りあに里岩笠面徳城



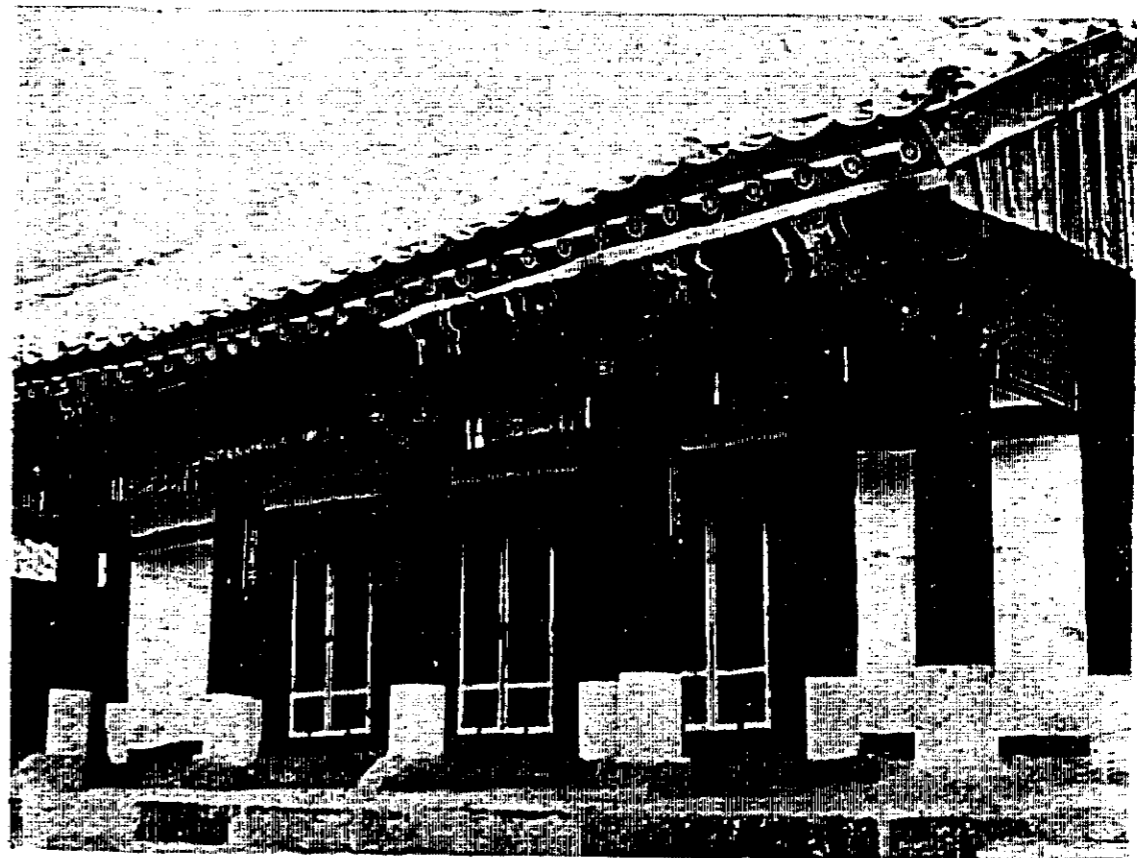
(一其) 軒 竹 烏
・で亭の生誕谷栗李儒大前年百三・りあに里軒竹而洞丁
。い多が竹鳥はに後亭。るあで閣製御部一のそは眞寫



(二其) 軒 竹 烏
。るあで室居の生誕谷栗李・は室の端右てつ向眞寫



廟 子 孔
六・てしに廟文の初最るけ於に鮮朝・りあに里洞校面陵江
。る係に設建の印承金使撫按・時の王烈忠麗高・前年餘百



殿 成 大 廟 子 孔
・子弟十七・りあ應に西東の殿。る祠を哲十賢四び及子孔
。ふ行を祭免釋に期二秋春歳毎。る祠を下以儒諸の淡



江陵郡廳



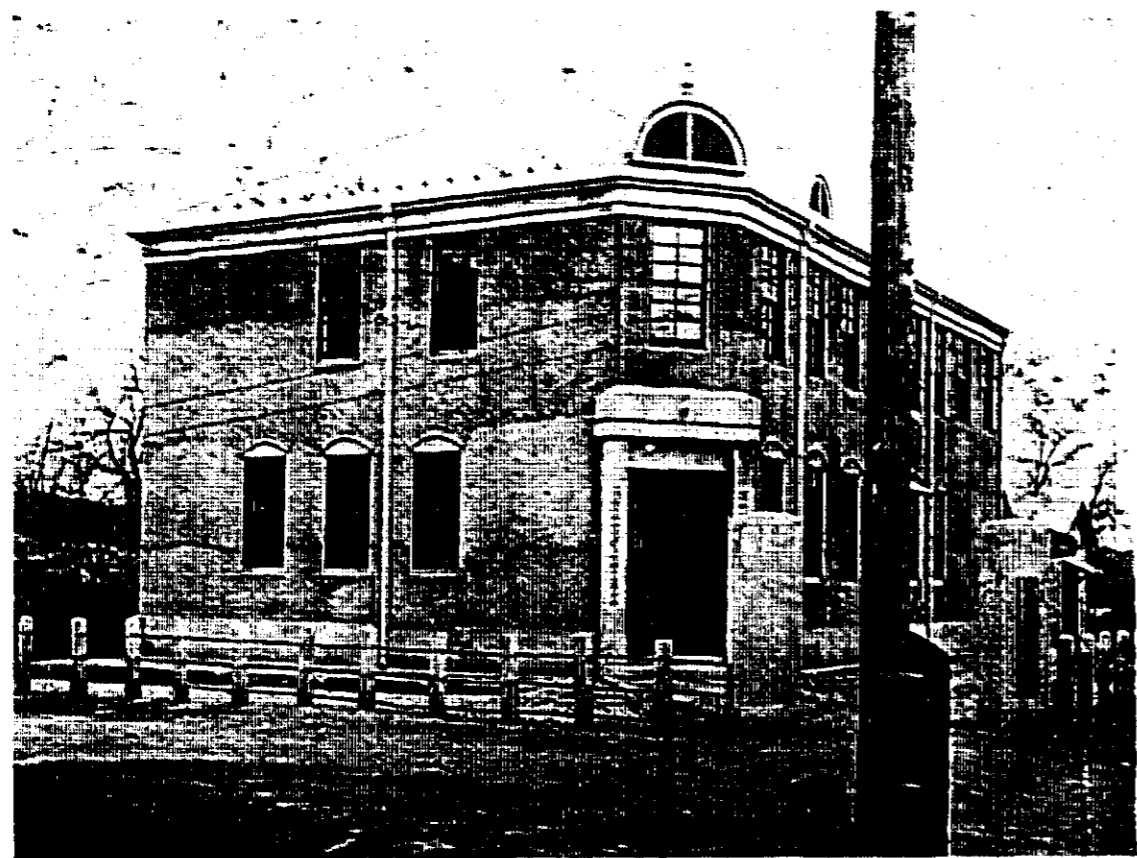
道立江陵醫院



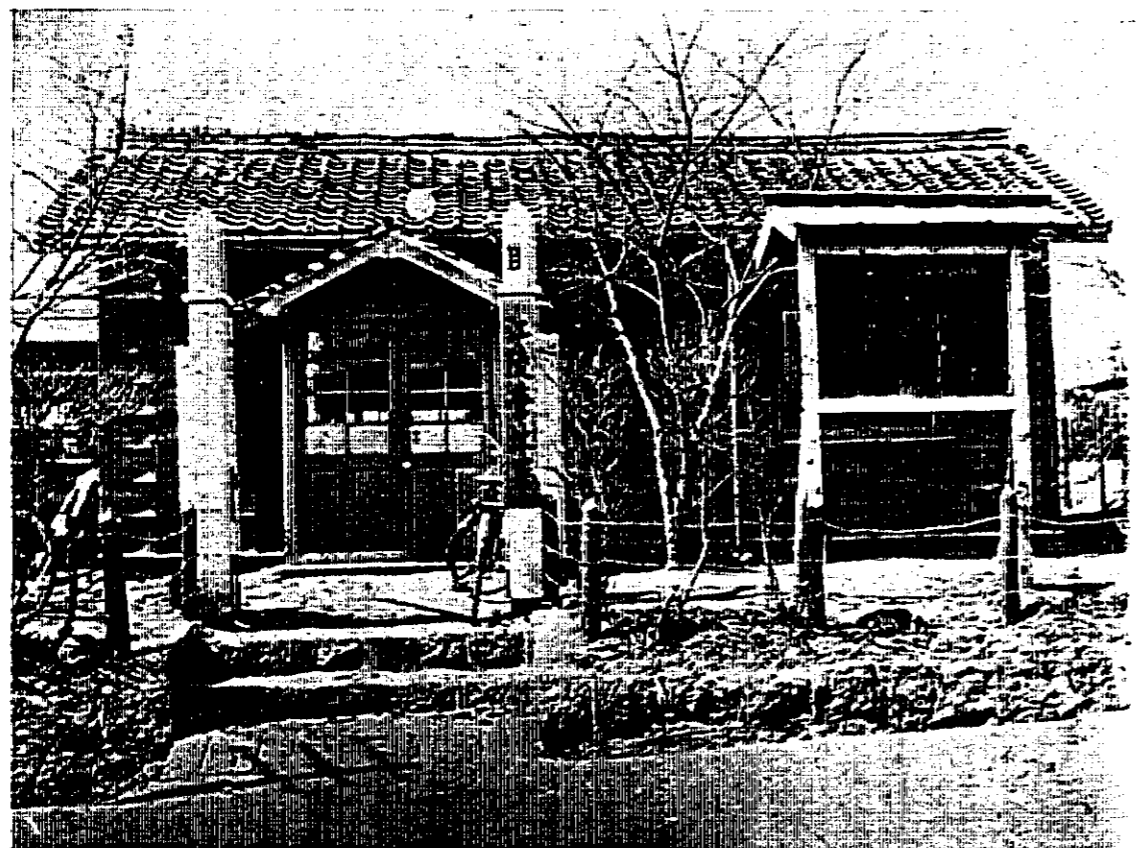
島竹の内の島



銀杏の木



江陵而事務所



江陵營林署



咸興地方法院江陵支廳



江陵警察署



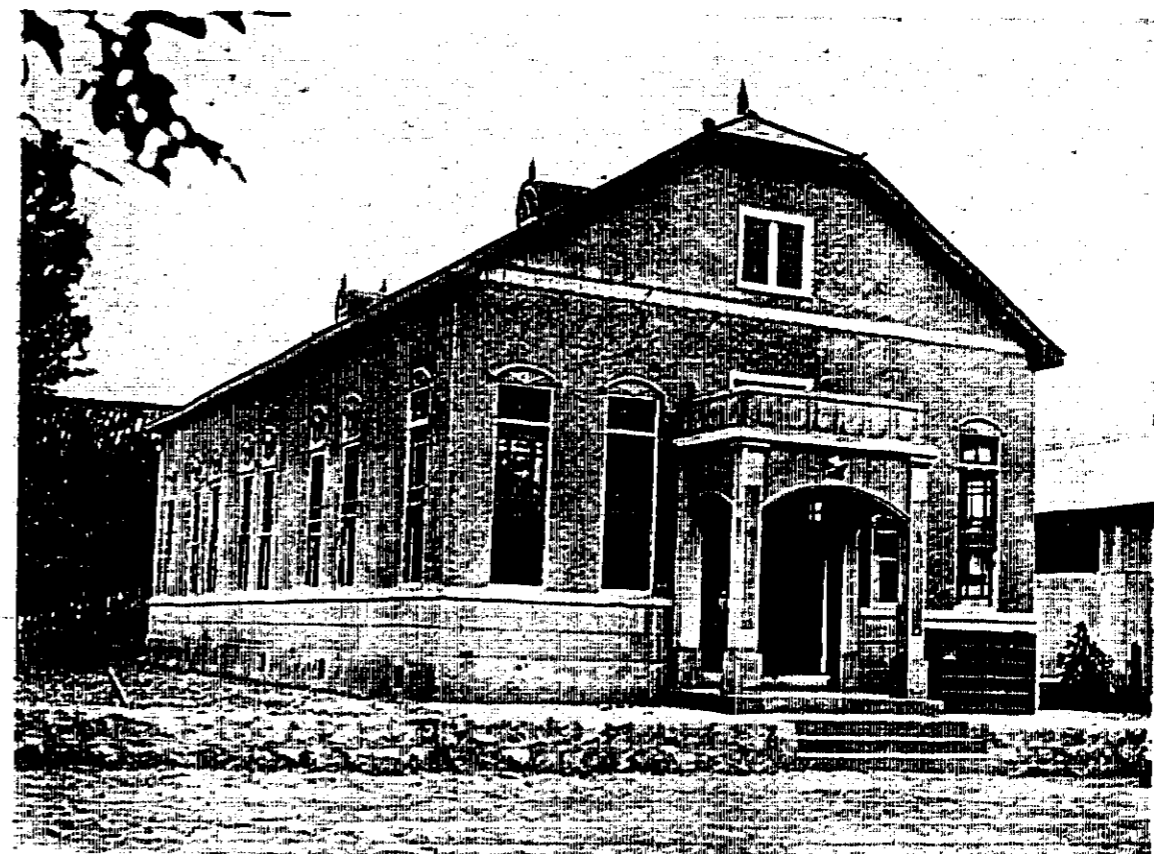
江陵郵便局



江陵沔候所



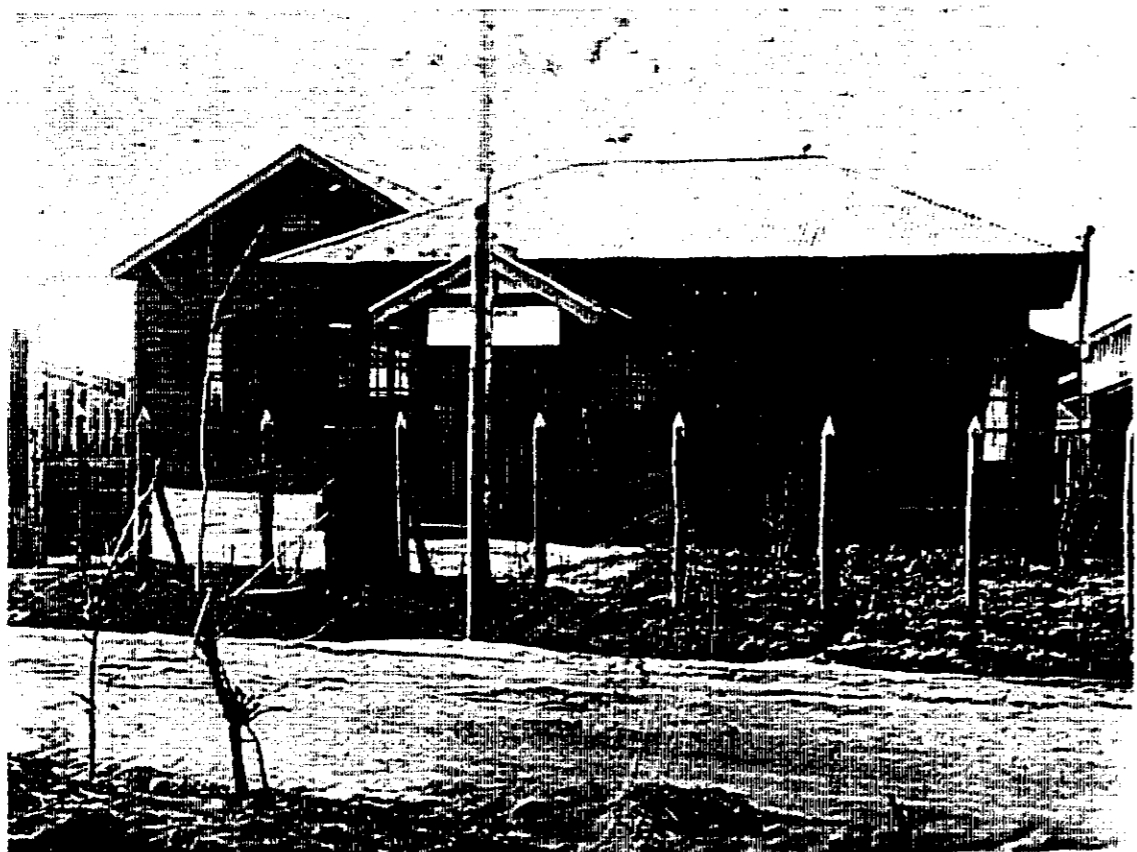
江原道穀物檢査所江陵支所



江陵公會堂



店支陵江社會捌賣元草煙



所電發社會氣電陵江



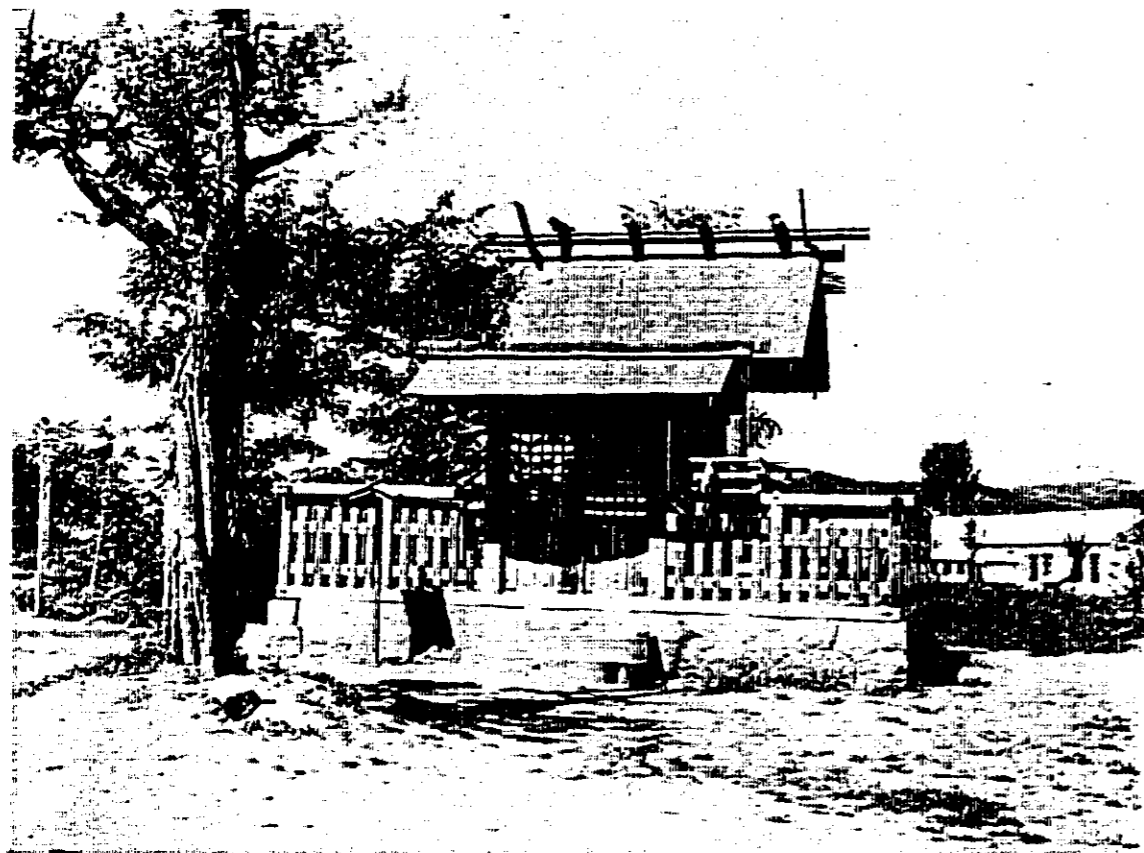
店支陵江行銀產殖



合組融金陵江



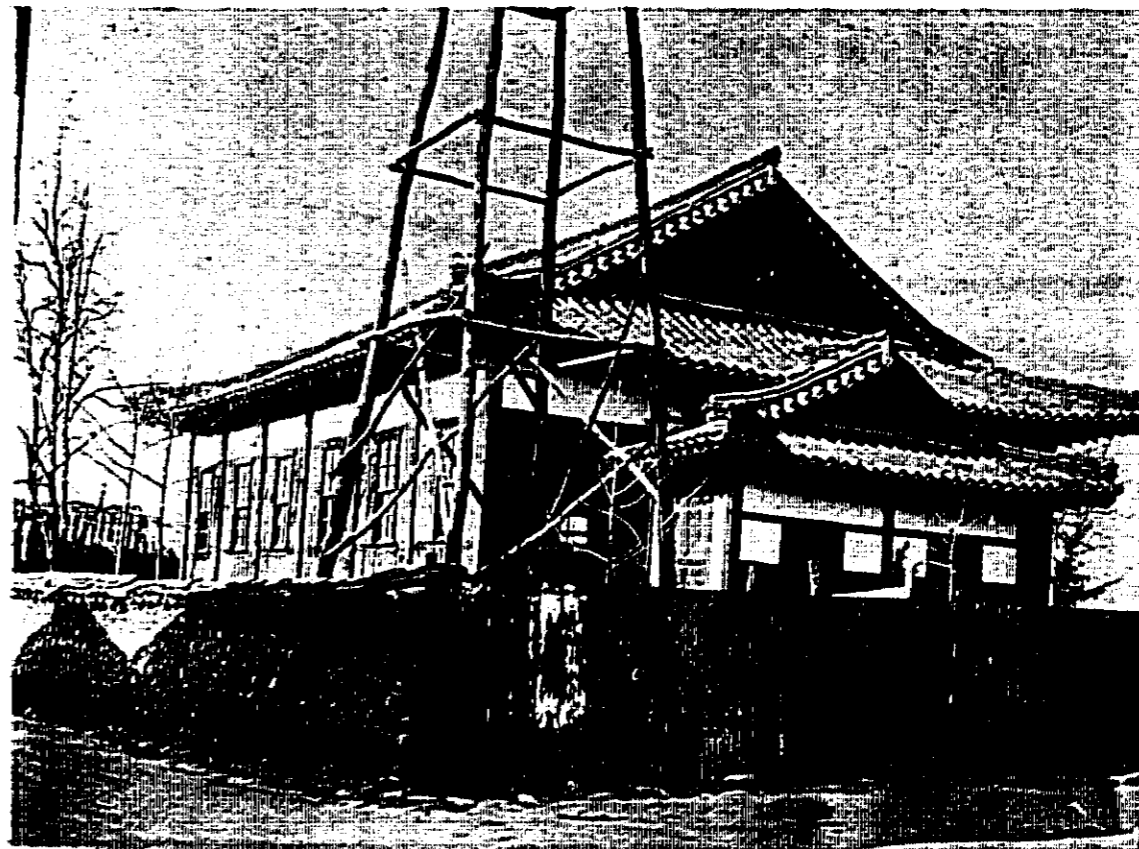
所張出陵江派寺願本



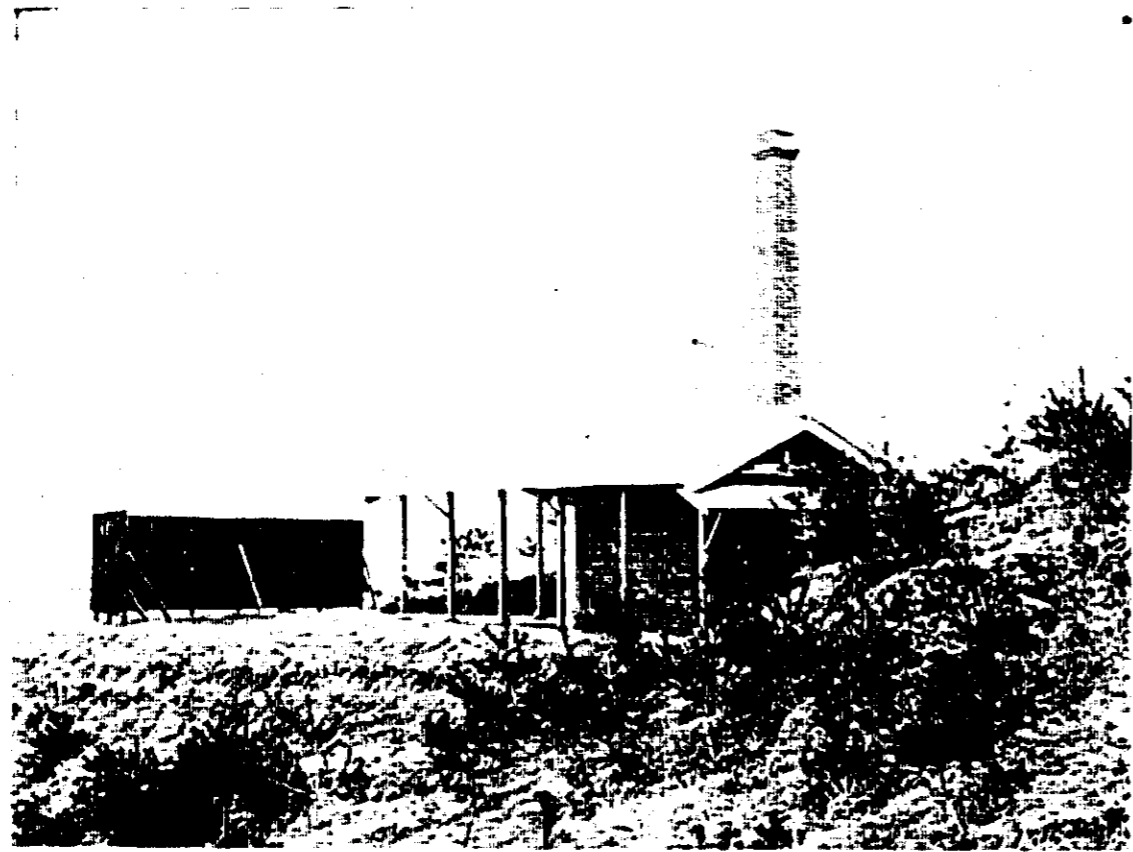
社神陵江



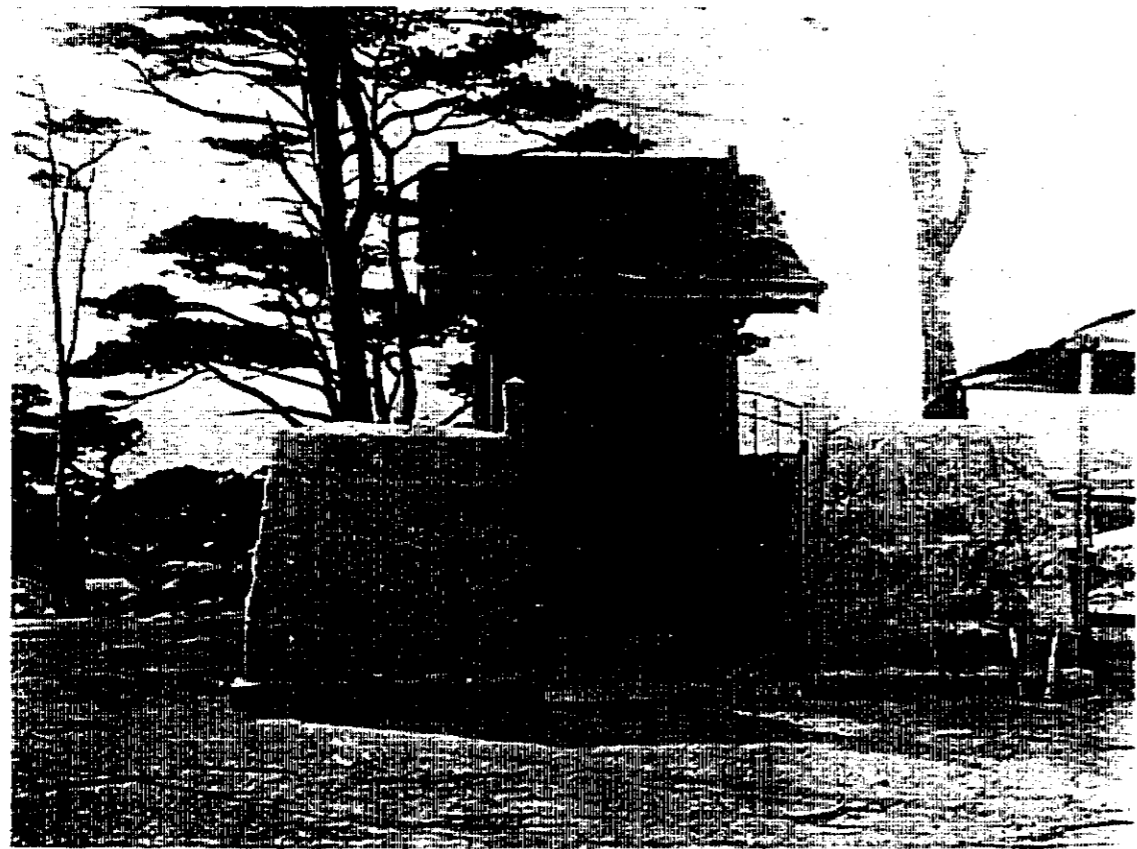
所教布寺精月陵江



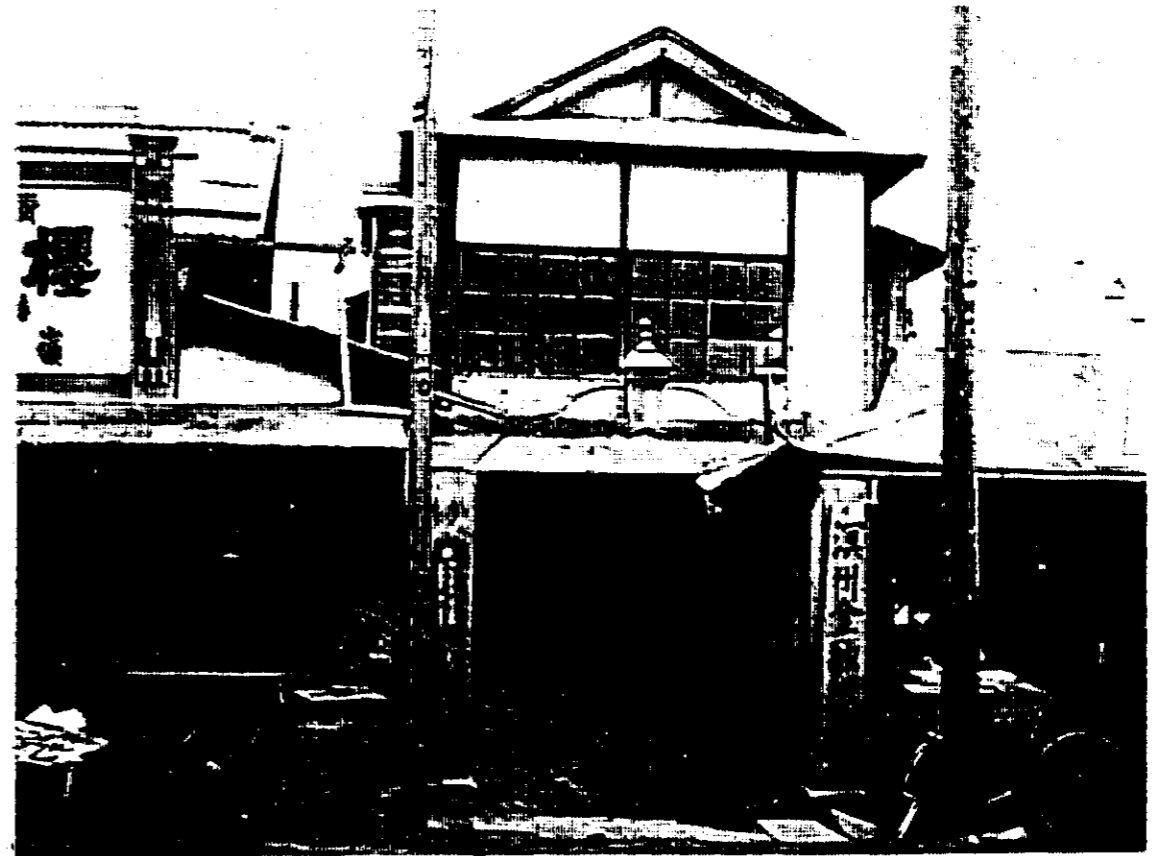
堂會教トスリキ陵江



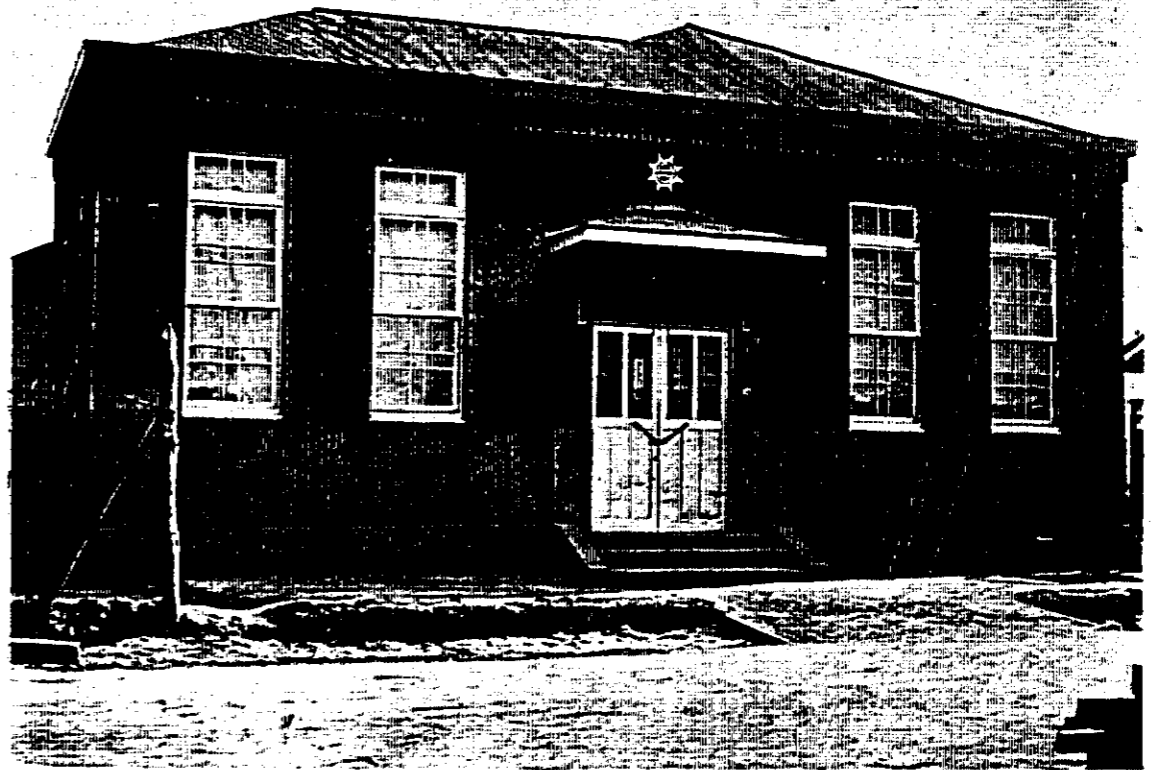
江陵面火葬場



注文津比羅神社



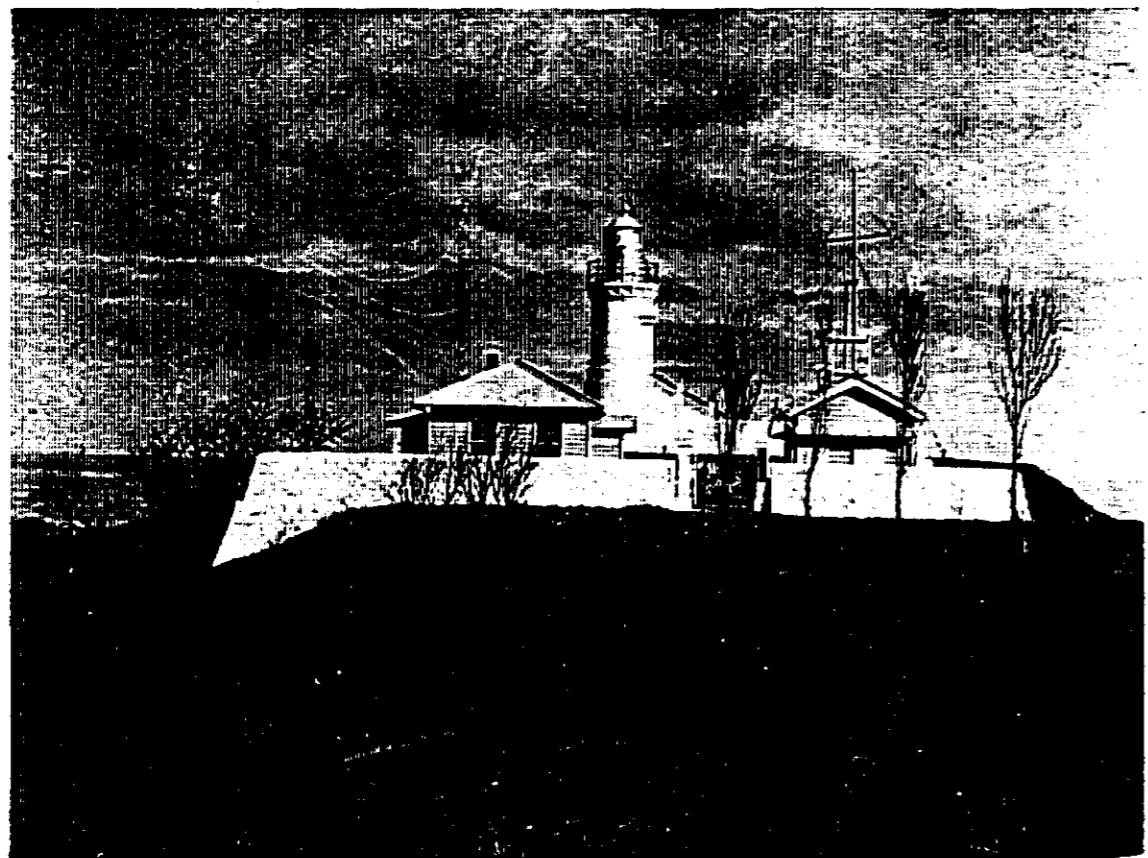
漢州金融組合



注文津金融組合



(一其) 臺 燈 津 文 注



(二其) 上 同



所 便 郵 津 文 注



場 坂 試 産 水 津 文 注